

平成30年度
千葉県立博物館文化セミナー

CHIBA



千葉学講座

【講演1】

埋め立て前の東京湾岸の景観と生業
— 林辰雄氏撮影の写真を手がかりに —

千葉県立中央博物館
主任上席研究員 白井 豊

【講演2】

「千葉港中央地区臨海公園基本計画」と
千葉の都市デザイン

千葉県立美術館
副館長 渡辺 修一

と き： 平成31年 **1/19** (土)

13:00~15:50 (開場 12:30)

ところ： 千葉県立中央博物館 講堂

定 員： 200名 当日先着順受付(受講料無料)

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 (青葉の森公園内)

TEL 043-265-3111 <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

事業主体：千葉県立美術館・千葉県立中央博物館(本館・大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館)・千葉県立現代産業科学館・千葉県立関宿城博物館・千葉県立房総のむら(指定管理者：公益財団法人 千葉県教育振興財団)

講演 1 13:00~14:20

埋め立て前の東京湾岸の景観と生業
—林辰雄氏撮影の写真を手がかりに—

千葉県立中央博物館
主任上席研究員 白井 豊



子どもを傍らに貝を掘る女性たち（千葉県立中央博物館所蔵・林辰雄氏撮影）

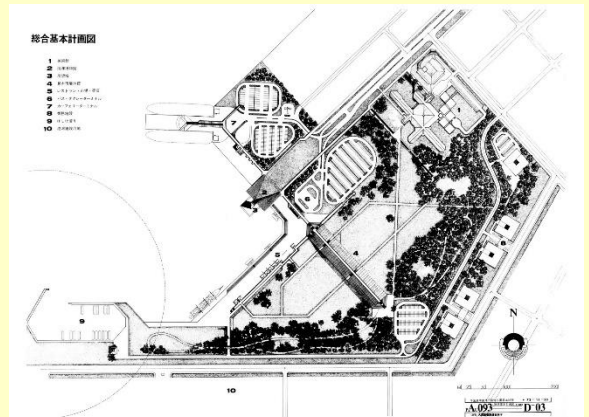
千葉県の東京湾岸、浦安市の西部から富津岬の付近までの海岸部は、埋め立て以前には干潟や浅瀬の海が続き、貝と海苔の養殖が主として行われていました。その海岸は、また日々の惣菜や田畑の肥料をとる場所でもありました。

写真家の林辰雄氏は、昭和30年代からの埋め立てを早くから察知し、干潟とそこに暮らす人々の生業の姿が眼前から消えゆくことを念頭に、多くの写真を撮影しました。今日では貴重な資料となったこの写真に、干潟での人々の暮らしぶりを読み取って紹介します。

講演 2 14:30~15:50

「千葉港中央地区臨海公園基本計画」と
千葉の都市デザイン

千葉県立美術館
副館長 渡辺 修一



大高建築設計事務所「千葉港中央地区臨海公園 総合基本計画図」1973

戦後日本を代表する建築家の大高正人氏は、1970年代初頭に千葉県立美術館及び千葉港中央地区臨海公園基本計画に着手します。現在「千葉ポートパーク」として知られるこの公園の計画は、千葉都心の臨海部に位置する都市公園として、最終的に実現しなかった見本市展示場やフェリーターミナルを含めた様々な施設と「歩車分離」や憩い空間創出のための美術作品（美術館）を織り込み、大高の都市デザインの思想を集成した設計になっていました。大高の都市デザインと、それが千葉のまちづくりに与えた影響を解説します。

*** 展覧会情報 ***

- ◆ 千葉県立中央博物館 本館 ☎ 043-265-3111
春の展示 千葉の鉄道物語 —線路が拓いた「観る・住む・運ぶ」—
平成31年2月23日（土）～6月2日（日）
- ◆ 千葉県立中央博物館 本館・生態園 ☎ 043-265-3111
生態園トピックス展 生態園の野鳥 —秋から冬へ—
平成30年10月10日（水）～平成31年2月17日（日）
- ◆ 千葉県立中央博物館 分館海の博物館 ☎ 0470-76-1133
マリンサイエンスギャラリー 水辺の外来生物 —房総の海と川から—
平成31年2月9日（土）～5月6日（月・振休）
- ◆ 千葉県立房総のむら ☎ 0476-95-3333
企画展 正月を迎える
平成30年11月24日（土）～平成31年1月20日（日）

※入場料が必要です（生態園は無料）。詳細は各施設にお問い合わせください。

* 会場へのアクセス *



- ・JR千葉駅・蘇我駅からバス15分+徒歩7分
- ・京成千葉寺駅から徒歩20分 ・有料Pあり

** 千葉学講座とは **

県立美術館・博物館5館8施設の調査研究活動の成果を、研究員による講演等により広く還元していくことを目的としています。

博物館職員と県民の方々が共にこの講座を通じて房総を再発見し、地域に立脚したコミュニティづくりや地域の発展等に寄与することを目指します。